

小中学生向けオープンイノベーション体験プログラム運営等業務委託  
質問への回答

質 問		回 答	
項目	内容		
1	副本への記載について 実施要項 11事業提案書について (1)提出書類①事業提案書	提案書類(副本)は、参加事業者名がわからないように提出するよう求められているが、既存施設名やプログラム名等の固有名称は伏せてまたは一般的な記載に変更して提出する必要があるか。	お見込みのとおりです。
2	会場について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ③実施時期及び会場	プログラムの実施会場は、各市民センターやFukuoka Growth Nextなど、市の施設を市の仲介のもと使用することは可能か。	可能です。ただし、予約状況や他イベント等の開催状況により使用が難しい場合は、事業者側でご準備ください。
3	参加対象について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ②参加対象	参加対象は60名とあるが、12回のプログラムを受ける対象として想定してよいのか。その場合、一度の募集で60名を募集するのか。	12回のプログラムの構成や内容に応じて、一度の募集とせず、募集を分けるなど、事業者側で効果的な募集方法を提案いただいても構いません。募集を分ける場合は、意図をあわせてご説明ください。また、募集を分けた場合においても、最終の企業へのプレゼンテーション参加者は60名程度を確保してください。
4	参加対象について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ②参加対象	参加者の小中学生の割合について想定はあるのか。小学生の低学年、高学年の割合の想定はあるのか。	割合の想定はございません。ただし、事業を効果的に推進するために事業者側で設定することは可能とします。提案競技会の時点で割合を設定している場合は、意図をあわせてご説明ください。
5	参加対象について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ③実施時期及び会場	プログラム1回あたりの時間の想定はあるか。また、内容によって時間数が変動されることは想定されているか。	時間数はご提案いただく内容により異なるものと想定しています。そのため、実施内容により時間数が変動することも想定されます。
6	参加対象について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ①内容	12回の体験プログラムは最終日の企業へのプレゼンテーションに向けた流れを想定しているのか。その場合、テーマで前編、後編として複数回開催にわたっても構わないか。	お見込みのとおりです。また、取り扱うテーマによって複数回に分けて開催いただいても構いません。

7	仕様書 4委託内容 (3)広報	開催告知について、市のホームページ掲載や小中学校へのアナウンスは可能か。	学校へのアナウンスとして募集チラシを配布する場合は、市立の小中学校に限り、市を通して配布することが可能です。ただし大量配布の場合の学校BOXへの振り分け作業は事業者で行っていただきます。市ホームページへの掲載、上記以外の方法でのアナウンスは事業者と協議のうえ、検討します。
8	参加対象について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ②参加対象	参加対象の60名について、募集の責任は事業者にあるという認識でよいか。また昨年度の実績はあるか。	募集は、事業者の責任において適正に実施してください。また、本委託は令和6年度新規事業のため、参加者の実績はありません。
9	参加対象について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ②参加対象	小中学生が対象であるが、参加対象者の構成に一定のまたは必須となる割合があるのか。	項番4をご参照ください。
10	参加対象について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ②参加対象	小学生の参加について、年齢制限や必須とする学年の設定があるのか。	参加年齢の制限、また必須とする学年の設定はございません。ただし、すべての参加対象者へ一律の対応をお願いするものではありません。学年ごとの発達段階にあわせてご対応ください。
11	評価事項及び配点表 (1)プログラムの企画・運営に関すること	評価項目の「起業家や企業、大学等の外部との関わりが盛り込まれたプログラムとなっているか。」は、市内の起業家等である必要があるか。またその際の講師謝礼等は事業費内に含むか。	原則として市内の起業家等との関わりを盛り込んだ内容をご提案ください。その一部において適した方がいらっしゃらない場合は、市外の方でも可能とします。また、講師謝礼等は経費に含めてご算定ください。
12	提案競技会の実施方法について 実施要項 13提案競技会(プレゼン審査)	提案競技会は対面かオンラインか。また当日の審査等で動画の投影は可能か。必要な機材はあるか。	提案競技会の実施方法は「実施要項13 提案競技会(プレゼン審査)」のとおり、事業提案書等を提出した事業者を対象に電子メールでお知らせします。
13	参加対象について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ④実施回数	20人4回を1つのプログラムとして3回開催する形式でも可能か。	項番3をご参照ください。
14	参加対象について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ④実施回数	一回あたりの開催時間に制限はあるか。	ありません。

15	仕様書 4委託内容 (2)関係者や社会へのオープンイノベーションの普及	使用教材の提供は、プログラム内で利用した全ての教材を提供する必要があるか。例えば有償のソフトウェア利用時に、イベント実施後もソフトウェアを提供する必要があるのか。またプログラミングを盛り込む場合、開発環境が利用できる状況を学校に提供する必要があるか。	参加した教員が自身の授業で実践できる内容とするため、使用した教材は可能な限りご提供ください。詳細は事業者と協議のうえ、決定します。なお、委託終了後に、使用したソフトウェアの使用権限や開発環境の提供を求めるものではありません。
16	仕様書 4委託内容 (3)広報	開催期間中の広報はどの主体にどのような広報を行い、どのような効果を得ることを期待しているのか。また市として活用不可とするSNS等、もしくは活用を促進したい広報ツールがあるか。	開催期間中の広報の効果としては、開催期間中も継続的にかつ可能な限りリアルタイムに実施内容等を発信することにより、本プログラムに参加していない同年代の児童・生徒及びその保護者、教員等の方にも、プログラム自体を知っていただくとともに、オープンイノベーションや起業への興味関心を高めていただくことを期待します。どの主体にどのような広報を行うことが効果的であるかは提案の中でお示しください。なお、広報に関して特に除外するまたは指定するものではありません。
17	参加対象について 仕様書 4委託内容 (1)プログラムの企画・運営 ②参加対象	参加者の定員60名程度とは、参加者固定で12回通して参加できる60名か、12回を複数のプログラムに区切りそれぞれ参加者を変えて60名のどちらか。また参加者の募集基準はあるか。	項番3、項番4をご参照ください。
18	仕様書 4委託内容 (3)広報	参加者募集チラシの配布は、教育委員会を通して市から配布することは可能か。または創業支援課から教育委員会へ依頼することは可能か。	項番7をご参照ください。
19	参加対象について 仕様書 4委託内容 (5)アンケート実施、報告書作成	最終日の企業へのプレゼンテーションの様子を撮影した映像データの使用用途は市の広報や教員の事業実施などか。	お見込みのとおりです。詳細は事業者と協議のうえ、決定します。
20	経費計上について 実施要項 11事業提案書について (1)提出書類 ②経費見積書及び積算内訳書	一般管理費の経費計上は認められるか。	認められます。